

夏瀬の森

だより

令和三年八月二十五日 第九十二号

田殿丹生神社 宮司 嶋田博文

「疫病鎮静」の祈り

平素は神社にご理解、ご協力をたまわり、まことごにありがとうございませう。二年近く互に互に自粛が続くコロナ禍の中、不安な気持ちを抱えおられる方も多いと存じます。御社頭に集い、賑々しく祭を行



い、共に祈ることはなかなかできませんが、日々神社ではコロナ禍の終息「疫病鎮静」を祈念しております。お祭りのあり方についても総代会、区長会、小学校など、様々な立場の方とお話をしてまいりました。毎月の月並祭を始めすべてのお祭りの神前式は従来通り厳粛に執り行ってお祭りますが、春祭りでは餅投げを、夏祭りでは宵宮の花火大会を昨年引き続き中止せざるを得ませんでした。

静かな夏祭りでしたが

日本では古来より農耕文化が盛んで、農業の無事を祈る様々な祭りが営まれておられます。七月十一日の当社先祭りは、先祖の祈りを受け継ぎ、病害虫の被害や風水害がないことを祈る祭りを総代・敬神婦人会の方々と共に執り行いました。



令和三年度の秋祭り

秋祭りにつきましては八月一日の総代会、六日の区長会との相談の結果、本年も残念ながら昨年と同じような形で実施せざるを得ないと判断させました。二年続きの悲しい判断ですが、ご理解のほどお願いいたします。



神前式について

神前式は十月十一日午前九時より、従来通り執り行います。

お渡りに伴う神事について

- 子ども神輿によるお渡りは行いません。
 - 三面（獅子舞）、山車、子ども笛太鼓の奉納は行いません。
 - お渡りは御輿または神籬（神）にて車等で神前式終了後、役員で行います。（午前中の予定）
 - 餅投げ、露店出店は行いません。
- 三面奉納の輪番について**
- 各字の順番は一年ずつずらし、来年度改めて賢区に三面を奉納していただきます。

夏越大祓式

七月三十一日の夜、輪越し大祓式を執り行います。大祓詞の宣読後、参拝者全員が自ら切麻で心身を清め、神職を先頭に茅の輪をくぐり、総代代表が氏子



の皆さんからお預かりをした人形



(ひとがた)を川に
包み、有田参
流さした方は各
拝された輪かぐ
々茅の輪を自
つた後に、自
茅を抜き、宅
や車を、身に
るた、身につ
輪を作った。境
のまお抹茶と
でのお抹茶の境
の和菓子のご
の菓子の境
念でしたが、大

待は今年も出来ず残念でした
勢の方々と夏の夜の
ひとときを楽し過
ごすことが出来まし
た。毎年、ことなが
ら、早朝より茅を刈
り、美しい茅の輪を
作成してくださいま
した。総代様方には心
より感謝いたします。



花しようぶのお出迎え

参道に花並べ
うぶを並べしよ
せていただきました
ました。少なき
ず、株分けをし
しながら増や
した花しようぶ
も桜を始めつじ



。境内には他に
ぎなどもあり、
季節の花で皆様
をお迎えできる
ようになっています
も、お世話をした
く思っています。

ご奉仕心より感謝いたします

五月十四日境内の樹木の消毒と剪
定、六月一日および七月十二日には
倒木の恐れがある木の伐採作業を責
任役員様と総代(年番)様の手でご
奉仕くださいました。また、敬神婦
人会の役員、理事様には月末の境内
掃除と年二回の総出での大掃除をご

奉仕いただきありがとうございます。七月四日に
は夏祭り前の大掃除を暑い中ご奉仕
くださいます。皆様に支えられ
ているお宮です。氏神様もさらに大
きな力でお守りくださることに違い
ありません。



功績表彰を受けられました



八月七日、令和三年
度有田郡市神社総
代役員会が、催され
ました。その中で、神
社行田支部功績表
彰が行われ、田殿
生神社責任役員
の井口崇さんが永
くお願いました。これからは、おめでとうござ
います。

素敵な贈り物

五月二十三日
の夜、紀元煙火
さのらんが、元
晴らし、元
ントを突、プレ
ンどい、突、く
さんど、祭、ど
んど、祭、ど
殿、二、祭、ど
り、三、祭、ど
の、三、祭、ど
ち、上、祭、ど
元、上、祭、ど
パ、上、祭、ど
は、上、祭、ど
すが、あ、踏、張、り、ま、し、よ、う。

